

項目	重点目標	具体的取組	評価の観点	評価者	R7 結果 %	前年度	目標 指数%	学校関係者評価	
確かな学力	1 「引き出す教育」「楽しむ教育」の推進	①主体的な学習の視点に立つ授業改善	子どもたちが授業に主体的に取り組むように努めた。(導入、発問、振り返り等)	教職員	100	100	90	・子どもたちの本離れが心配。タブレットも大切だが、本に親しむ機会を引き続き設けてほしい。 ・子どもたちの学習の中で、本物に触れる機会を設けてほしい。	
			授業に主体的に取り組んだ	児童	100	99	90		
			学校は子どもたちが授業に主体的に取り組めるよう工夫している	保護者	98	96	90		
		②学び合い、わかる授業づくり	わかる授業に努めた	教職員	100	100	90		
			個のニーズに応じた指導を常に心がけた	教職員	100	100	90		
			日々の授業がわかった。	児童	97	100	90		
			子どもたちは授業がわかっている。	保護者	98	94	90		
		③ICTの活用	ICTを効果的に活用し、理解が深まる学習、協働的な学習を進めた。	教職員	100	100	100		
			タブレットを使って楽しく学習できた。	児童	99	100	90		
			ICTを活用し、工夫した授業に取り組んでいた。	保護者	96	98	90		
		2 基礎・基本的な学力の定着	④家庭学習 家庭学習の取組 設定時間の意識化	家庭での学習の指導を継続的に行った。(設定時間、自学のしかた等)	教職員	100	100		80
				家庭で宿題や読書などがんばることができた。	児童	99	99		80
	子どもたちは家庭学習(宿題、読書、タブレット学習など)に取り組んでいた。			保護者	94	78	80		
	3 読書習慣の育成	⑤読書に親しむための取組	読書指導に継続的に取り組み、読書習慣の向上を図った。	教職員	100	100	80		
			読書に継続的に取り組むことができた。	児童	94	89	80		
学校は、子どもたちが読書に親しむ習慣作りに取り組んでいる。			保護者	94	87	80			
豊かな心	1 思いやりの心の育成	⑥あいさつの習慣化推進	児童に対して自分から進んで誰にでもあいさつするように指導を行った。	教職員	100	100	90	・ふれあい班(たてわり班)がうまく機能している。いろいろな先生方が子どもたちと関わってくれているので、子どもたちも学校へ行く楽しみが増えているように思う。 ・小さい学校だからこそできる、少人数を生かした活動を続けてほしい。 ・子どもたちは、学校の中で一人一役などたくさん活動している。少ない人数だからこそできた、というように考えていきたい。今後も、伊井っ子全員が活躍する活動をお願いしたい。	
			学校や家庭・地域で「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」等のあいさつを自分から行った。	児童	99	100	80		
			子どもたちは、家の人からのあいさつにこたえている。	保護者	100	100	80		
		⑦規則を尊重する態度の育成	時間を守って行動し、廊下や階段を走らないように指導した。	教職員	100	100	90		
			時間を守って行動し、廊下を走らないように気をつけた。	児童	100	99	90		
		⑧思いやりの心	相手を思いやり親切にする指導を継続して行った	教職員	100	100	90		
	相手を思いやり親切にしている		児童	99	99	90			
	子どもたちは、優しくあたたかい言葉づかいで話している。		保護者	94	89	90			
	2 いじめ不登校の防止	⑨楽しい学校生活	学校生活が楽しくなるよう努めている	教職員	100	100	90		
			学校に来るのが楽しい	児童	96	100	90		
			子どもたちは、元気に学校に通っている。	保護者	92	93	90		
	⑩児童理解	児童理解に積極的に努めた。	教職員	100	100	100			
		自尊感情を高める指導に努めた。	教職員	100	100	90			
		学校の先生は、自分の話を聞いてくれる。	児童	97	97	100			
		学校は、子どもの相談に応じたり、「ハートふれあい週間」による面談等で、児童理解に努めている。	保護者	96	98	90			
3 道徳教育の充実を人権意識の向上	⑪道徳科の授業向上	児童が意欲的に考え、話し合える授業づくりに努めた。	教職員	100	100	90			
		道徳の授業で、自分の考えを伝えたり、友達の意見を聞いたりして、考えを深めた。	児童	100	100	90			

項目	重点目標	具体的取組	評価の観点	評価者	R7 結果 %	前年度	目標 指数%	学校関係者評価
健やかな体	1 望ましい生活習慣の育成	⑫早寝・早起き・朝ごはんの指導	早寝・早起き・朝ごはんの指導を継続して行う	教職員	100	100	90	・家庭では、ゲームやインターネットを長時間利用している。長時間使用による身体への影響を心配している。「家では30分間したら、1時間は休むように、ルールを決める。」といったルールを決めたらどうか。
			早寝・早起き・朝ごはんに毎日取り組む	児童	99	97	80	
			子どもたちは早寝・早起き・朝ごはんを毎日取り組んでいる	保護者	94	100	90	
		⑬ゲーム、インターネット利用時のルール	スマートルールや家庭読書の日をもとに指導している。	教職員	100	100	80	
			ゲーム、インターネットはルールを守って、見たり使ったりしている。	児童	97	97	80	
			家庭のルールをつくり、守るよう取り組んでいる。	保護者	94	91	80	
	2 主体的に取り組む運動習慣の育成	⑭主体的に取り組む運動習慣の育成	授業や業間体育で記録が伸びるよう励ましながら指導した。	教職員	100	100	90	
			授業や業間体育で記録が伸びるよう努めた。	児童	99	100	90	
			学校は、子どもたちがめあてをもって体力向上に取り組めるよう努めている。	保護者	100	98	90	
	3 安全教育の推進	⑮危機意識・判断力の向上	日頃より、感染症防止や交通安全など安全教育を行っている	教職員	100	100	90	
			感染症防止や交通安全などに気をつけている。	児童	100	100	90	
	信頼される学校	1 ふるさと学習、地域教育力の活用推進	⑯ふるさと教育の推進	ふるさとに関する学習や活動を積極的に進めた。	教職員	100	100	
自分ができることに進んで取り組んだ。				児童	97	100	90	
子どもたちは、ふるさとに関する学習や活動をとっても行っている。				保護者	98	100	90	
2 地域への情報発信		⑰地域との連携	地域の教育資源や人材を活用した教育活動を進めている。	教職員	100	100	90	
			地域の行事に参加したり、地域の人とふれあったりすることは楽しい。	児童	100	100	90	
			学校は、地域の教育資源や人材を活用した教育活動を進めている。	保護者	100	100	90	
		⑱学習や生活の様子を伝えるための工夫	お便りやホームページなどを通して学習や生活の様子を伝えている。	教職員	100	100	90	
			お便りやホームページなどを通して子どもたちの学習や生活の様子がわかる。	保護者	98	98	90	